

令和7年度 地域情報化アドバイザー制度活用報告書

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

1. 申請団体情報

1-1. 申請団体

団体名	門真市			代表者名	宮本 一孝
担当者部署(属性)	情シス担当	担当者部署名	企画財政部ICT推進課	連絡先電話番号	06-6902-5793
担当者役職	課長補佐	担当者氏名	大中 伸彦	連絡先E-mail	
住所	571-8585 大阪府門真市中町1番1号				

1-2. 推薦団体（「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力）

団体名		連絡先部署	
担当者氏名		連絡先電話番号	
		連絡先E-mail	

1-3. 支援を求める内容

支援方法	具体的課題への支援	事業名	DX推進事業、庁内ネットワーク環境整備事業
概要	令和4年度に策定した「門真市DX推進計画」を改定し、バージョンアップしてより一層DXを推進するとともに、特にDX人材育成にも力を入れたいと考えている。これら一連の計画・方針策定について指導・助言をいただきたい。また、計画改定を踏まえ、DX推進リーダーに向け研修を実施していただきたい。加えて、国が進める自治体ネットワーク分離方式（いわゆる三層分離）の見直しを踏まえ、今後どのように庁内ネットワーク環境を整備すべきか技術的な助言をいただきたい。		
支援を求める分野	人材（DXに関する知識習得・研修・育成） 計画策定支援 ネットワークインフラ（Wi-Fi/LPWA/光ネットワーク）		

2. 地域情報化アドバイザー派遣実績

2-1. 対応日・時間	期日・支援内容の変更あり	受付番号	変更後の派遣日	変更後に実施した支援内容	実地/オンライン
	有	570	令和7年8月7日	支援・助言	オンライン
	派遣日予定日（申請書より）	支援内容（申請書より）	開始時刻	終了時刻	内休憩時間（分）
	令和7年8月6日	支援・助言(オンライン)	14時00分	16時00分	
				活動時間（分）	120
2-2. 派遣場所	会場名	オンライン	最寄駅	オンライン	
	所在地	オンライン	最寄駅からの交通手段	オンライン	

3. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	高橋 邦夫
評価	大変良い
上記評価の理由（どのようなところがよかったか等詳細に）	DX推進計画の改定について、現行計画の取組実績や改定の方向性、改定概要案等を説明し、助言を求めたところ、現行計画の取組実績について一定の評価をいただくとともに、改定計画において盛り込むべき視点や項目を適切に指摘いただいた。
アドバイザーへの要望事項	第1日目支援における助言等を踏まえて、計画改定素案を作成していくので、第2回目支援において更なる助言等をお願いしたい。

4. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

4-1. 支援を受けた対象者	属性（職員、一般、企業等）について【自由記述】	合計人数	4人		
	属性	自治体職員	住民	企業・団体	その他(学生など)
	人数	4			
4-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果					
事業の課題・問題点（具体的にご記入下さい）	令和4年11月に策定した「門真市DX推進計画」の計画期間が令和7年度末までとなっているが、令和8年度以降も本市DXを引き続き推進していく必要があることから、次期計画に盛り込み、推進していくべき取組事項の精査やDX推進にあたり必要となる能力を身に付けたデジタル人材の育成に取り組む必要がある。				
支援により目指す成果（具体的にご記入下さい）	今後進展していく人口減少社会において、持続可能な行政サービスを提供するため、行政手続のオンライン化や業務のデジタル化等、DX推進の取組を確実かつ強力に進めていく必要があり、その方針となる計画を改定することによって、今後の本市のDX推進の方向性を明確化するとともに、これらのDXの取組を実践するために必要な能力等を身に付けたデジタル人材の育成を図ることで、更なるDX推進を図り、市民の利便性向上や業務の効率化・省力化を進めていく。				

アドバイザーに支援を受けた内容 (具体的にご記入下さい)	現行の門真市DX推進計画における取組実績に対する評価をいただくとともに、改定計画にそれらの実績を記載することの助言をいただいた。また、改定計画における個別の重点取組事項に対する取組の方向性やスケジュール、文言の表現等について助言をいただいた。	
支援を受け改善又は解決された内容 (具体的にご記入下さい)	現時点では国の自治体DX推進計画の期間終了後の取組が明確に示されていない中、手探りで計画改定作業を進めているが、アドバイザーより本市が考える改定の方向性について一定の評価をいただくことで、今後の計画改定の進め方が明確になった。また、改定計画で盛り込む予定の「フロントヤード改革」について、今後、推進していく上での手順やスケジュールが明確になり、参考になった。	
具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。	⑥途中段階であり、具体的な成果物はできていない
改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容 (具体的にご記入ください)	今回の助言では、改定計画に盛り込むべき視点や項目の指摘であったため、今後、改定素案を作成していくにあたり、各重点取組事項の取組の方向性やスケジュール等を具体化していく必要がある。	
アンケートの内容と分析結果	講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。(EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。) アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。	
4-3. 今後の計画	最も当てはまるものをリストより選択下さい	③现阶段では課題・問題が残っているため未定
4-4. 事業の最終的な目指す姿	DXの更なる推進によって、市民の利便性向上や業務の効率化・省力化を図り、行政資源が制約されていく中においても多様化・複雑化する住民ニーズに応えていく。	

5. 報告書に関しての地域情報化アドバイザーホームページ「派遣事例」への掲載許可

https://www.r-ict-advisor.jp/cases-case-good-practices/past_year_all_houkoku/

掲載許可	<input type="radio"/> 掲載可
------	---------------------------

なおくその他>を選択した場合、具体的な記入が必要となりますのでご注意ください

6. 地域情報化アドバイザー支援の様子

今回の派遣における**地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真(JPEG等)」**を数枚程度貼り付けて下さい。

